

2024年度中国観光誘客拠点機能業務委託事業
公募型プロポーザル実施要領

1 事業の趣旨・目的

栃木県国際観光推進協議会（以下「委託者」という。）では、本県への外国人訪問者数や宿泊者数が上位である中国を重点市場と位置付け、これまで様々な観光誘客施策に取り組み、本県の認知度向上に努めてきた。

2023年12月の中国人訪日客数は2019年時の約4割まで回復を見せているが、他国と比べ回復率は低水準にとどまっている状況である。2024年度は、誘客プロモーションをさらに強化し、中国人観光客数の早期V字回復を目指す必要がある。

また、新型コロナウイルス感染症が流行した約3年間を経て、中国人観光客の希望する旅行形態や求めるコンテンツにも変化が生じていると考えられる。そのようなニーズの変化に対応し、一層の本県認知度向上及び中国人観光客増加を図るためには、現地に居を構え、現地の旅行事情に精通した組織による、時宜に応じた情報発信及び情報収集が不可欠である。

そこで、適時適切かつ効果的な情報発信及び情報収集に係る業務を強化し、中国からの観光誘客促進を図ることを目的に、中国における観光誘客の拠点機能業務を委託する。

2 業務概要

- | | |
|------------------|---|
| (1) 業務名 | 2024年度中国観光誘客拠点機能業務委託事業 |
| (2) 業務内容 | 別紙「2024年度中国観光誘客拠点機能業務委託事業 企画提案仕様書」（以下「仕様書」という。）のとおり |
| (3) 契約期間 | 契約締結の日から2025年3月31日（月）まで |
| (4) 委託料限度額 | 4,924,000円（消費税及び地方消費税を含む。） |
| (5) 担当所属及び問い合わせ先 | 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
栃木県国際観光推進協議会事務局 大関
（栃木県産業労働観光部観光交流課 インバウンド推進担当）
電話 028-623-3309 FAX 028-623-3306
電子メール kanko@pref.tochigi.lg.jp |

3 参加資格

企画提案に参加する者は、次に掲げる要件を全て満たしていること。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しない者であること。
- (2) 競争入札参加者資格等（平成8年栃木県告示第105号）に基づき、入札参加資格を有する者であること。又は契約締結時までに資格を取得する見込みであること。
- (3) 本要領の公表日から本要領4に記載するプロポーザル審査実施日までにおいて、栃木県競争入札参加資格者指名停止等措置要領（平成22年3月12日付け会計第129号）に基づく指名停止期間中でない者であること。
- (4) 民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申立て、会社更生法（平成14年法律第154条）の規定による更生手続開始の申立て、又は破産法（平成16年法律第75号）の規定による破産手続開始の申立てが行われている者でないこと。
- (5) 栃木県暴力団排除条例（平成22年栃木県条例第30号）第2条第1号又は同条第4号の規定に該当する者でないこと。
- (6) 国、地方公共団体又はその他の公共的団体が発注した観光誘客拠点機能業務に関し受注実績がある者であること。
- (7) 中国向け事業に特化した現地拠点又はそれに準ずる連携先を有する者であること。
- (8) 仕様書4の「(3)業務内容」全般に精通し、同様の業務実績を有する者であること。

4 プロポーザル実施の手続

(1) 実施スケジュール

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ア 実施要領等の公表 | 令和6(2024)年2月13日(火) |
| イ 実施内容等に関する質問受付期限 | 令和6(2024)年2月16日(金)15時必着 |
| ウ 質問に対する回答 | 令和6(2024)年2月20日(火) |
| エ 参加表明書の提出期限 | 令和6(2024)年2月27日(火)15時必着 |

オ 企画提案書の提出期限	令和6(2024)年3月8日(金)15時必着
カ プロポーザル審査実施	令和6(2024)年3月13日(水)(予定)
キ 選定結果の通知・公表	令和6(2024)年3月中旬(予定)

(2) 実施要領等の配布

栃木県ホームページ（産業・しごと > 入札・公売 > 入札・公募（業務委託））からダウンロードすること。

URL : <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kensei/nyuusatsu/koubo-itaku/index.html>

(3) 質疑・回答

プロポーザル方式に参加するに当たり質問事項がある場合は、簡易なものを除き、質問書（別記様式1）により提出すること。

ア 受付期間：公募開始日～令和6(2024)年2月16日(金)15時必着

イ 質疑方法：電子メールにより、2(5)に提出すること。

ウ 回答期日：令和6(2024)年2月20日(火)

エ 回答方法：回答は栃木県ホームページ（4(2)のURL）に掲載する。

(4) 参加表明書の提出

本プロポーザルへの参加を希望する者は、参加表明書（別記様式2）及び確認書（別記様式3）を作成し、提出すること。

ア 提出期限：令和6(2024)年2月27日(火)15時必着

※提出期限後に到着した書類は無効とする。

イ 提出場所：2(5)

ウ 提出方法：電子メール

※参加表明書の提出後に参加を辞退する場合は、令和6(2024)年3月8日(金)15時までに辞退届（様式任意）を提出すること。

(5) 企画提案書の提出

参加表明書の提出後、仕様書及び以下のア～クに基づいて企画提案書を作成し、提出すること。

ア 提出期限：令和6(2024)年3月8日(金)15時必着

※提出期限後に到着した書類は無効とする。

イ 提出場所：2(5)

ウ 提出方法：持参（平日の9時～17時）又は郵送（書留郵便に限る。）

※郵送の場合は、到着確認のため電話連絡を行うこと。

エ 企画提案書の用紙は、原則としてA4版用紙を使用することとし、A3版用紙を使用する場合には、A4版サイズに折り込むこと。カラー印刷とすること。枚数の制限は特に設けないが、できるだけ簡潔にすること。

オ 企画提案書の様式は任意であるが、次の事項を含めて作成すること。

なお、記載順序は任意とする。

(ア) 企画提案者の概要、企画提案者の持つ強み 等

(イ) 企画提案内容（仕様書記載の業務内容に関する具体的な企画案を記載。また、仕様書に定める内容以外に独自に提案できる事項がある場合は、その内容を記載。）

(ウ) 業務実施スケジュール

(エ) 業務実施体制

(オ) 地方公共団体等における同様の受注業務実績

(カ) 見積額（合計額だけでなく、業務内容毎に積算内訳を記載すること。）

ク 企画提案書は1者1提案とする。

キ 企画提案書の提出部数は、6部（正本1部、副本5部）とする。

なお、審査の公正を期すため、副本には参加者名を記入しないこと。

ク 提出の際に、委託者宛ての見積書の正本1部を提出すること。

なお、見積書は必要な項目ごとに区別する（諸経費や消費税も区別する）とともに、企画提案書の見積額と整合させること。

(6) 企画提案書等提出書類の取扱い

ア 提出期限後は、提出書類の変更、差替、再提出又は撤回は認めない。

イ 提出書類は、理由の如何を問わず返却しない。

ウ 企画提案書は、栃木県情報公開条例（平成11年栃木県条例32号）に基づく公文書開示請求の対象となる。

- エ 委託者は、必要に応じて、追加資料の提出を求めることができる。
- オ 企画提案書等の作成及び提出に係る費用等、プロポーザル参加に要する経費は全て企画提案者の負担とする。
- カ 企画提案者は、企画提案書の提出をもって、実施要領等の記載内容に同意したものとみなす。
- キ 企画提案書に使用する言語は日本語、使用する通貨は円とする。
- ク 提出された企画提案書は、選考を行う作業に必要な範囲において、複製を行う場合がある。
- ケ 企画提案書等の著作権は、企画提案者に帰属する。
- コ 企画提案書等に含まれる著作権、特許権など日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものを使用する場合、生じる責任は企画提案者が負う。

5 審査方法等

(1) 評価基準及び契約候補者の選定方法

別紙「2024年度栃木県海外観光誘客拠点機能業務委託事業 公募型プロポーザル評価基準」のとおり

(2) 審査方法

企画提案書、見積書について、評価基準に基づき、プロポーザル選定委員の意見（採点等）を聴取し、評価を行う。

(3) その他

次に掲げる事項に該当する者は、失格とする。

- ア 提出書類に虚偽の内容を記載した場合
- イ 本実施要領に示した企画提案書等の作成及び提出に関する条件に違反した場合
- ウ 企画提案書の見積額が2(4)の委託料限度額を超える場合
- エ 評価の公平性に影響を与える行為があった場合
- オ 評価に係るプロポーザル選定委員に対して、直接、間接を問わず故意に接触した場合
- カ その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行った場合

6 選定結果の通知・公表

契約候補者選定後、参加者全員に選定又は非選定の結果を通知する。また、契約候補者の名称等について、栃木県ホームページ（4(2)のURL）に公表する。

7 契約手続

- (1) 契約候補者と委託者との間で、委託内容、経費等について再度調整を行い、協議が調った場合、委託契約を締結する。
- (2) 契約代金の支払いについては、原則、精算払いとする。
- (3) 契約候補者が特別な事情等により契約を締結しない場合は、その理由を記載した辞退届を提出すること。なお、この場合、次順位の者を新たな契約候補者とする。

8 プロポーザルの変更等

栃木県議会通常会議において、本事業に係る令和6(2024)年度当初予算が成立しなかった場合は、このプロポーザルの変更等を行う場合がある。